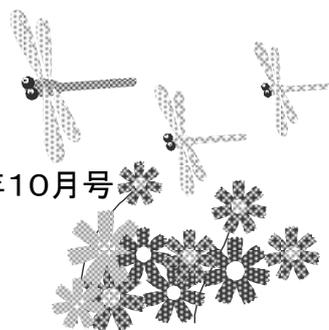


子育て通信(秋季号)

子どもに向かい合い続ける保護者を応援します。平成29年10月号



発行: 墨田区教育委員会(地域教育支援課)
〒130-8640 墨田区吾妻橋一丁目23番20号

【子育て通信】は季刊です。裏面にコラムがあります。

平成29年度地域育成者講習会を開催しました

地域で支えよう！ すみだの子育て

区では、青少年育成委員、青少年委員、PTA役員、子ども会関係者など、地域の育成者を対象に、地域の教育力を向上させるための講習会を開催しています。「すみだの子どもたちの未来」はどのようになってもらいたいのか。「地域の大人として子どもたちにどのように関わっていったらいいのか。」をテーマに参加者同士が意見を述べ合うワークショップ方式を取り入れて開催しました。

講習会レポート

二人組でのペアトークから始まり、「地域としてどんな子どもを育てたいですか?」、「そのためにどんなことが地域でできると面白いですか?」をテーマに意見を交換した後、個人ワークシートを作成し講習会のまとめを行いました。

講習会全体を通して、話題に上ったのは、主に以下の3つでした。

- 1 挨拶を通して子どもと大人の関係性をつくっていく
- 2 危険をあらかじめ排除していくのではなく、子どもが自由に学ぶ・遊べる環境を、地域でどのように協力してつくるか?
- 3 子どもたちだけでなく一緒に活動している大人も楽しんで活動することが大切

次回は、これらの意見をもとに次回の開催する予定です。

詳細は区ホームページにアップされている報告書をご覧ください。

墨田区ホームページで“地域育成者講習会”で検索！！

【問合せ】 墨田区教育委員会事務局地域教育支援課地域教育支援担当 電話 **5608-1433**



子育て通信読者アンケートを実施します

子育て通信の紙面をより充実させるために読者アンケートを実施します。ぜひご協力ください！

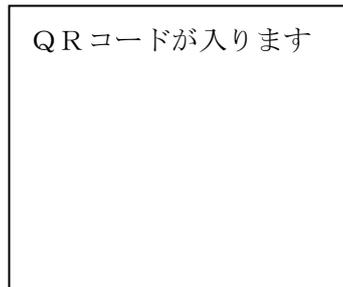
・回答方法

右のQRコードを読み取り、WEBページ上で回答ください。

・結果について

集計した結果については、ホームページや子育て通信の紙面上で報告します。

QRコードが入ります





「子育て支援コラム」

平成29年度第3回テーマ
～ほめることと認めること～

▼現在話題になっているアドラー心理学の子育てについての考え方に出会った時の衝撃は、もう30年近く前であったにもかかわらず忘れられません。以後、私の子育て相談の基本柱の一本になりました。そのほんの一部を紹介いたします。

▼子どもが一番欲しがっているのは自分を養育してくれる人の自分への関心だという考え方があります。

▼その結果、子どもは養育者の関心を引くために良いことをしたり、逆に悪いことをする場合もあります。いずれにしても目的は自分への関心を引き出すことです。

▼子どもが適切な行動をした時にほめるのではなく、認めましょと勧めています。

▼ほめることと認めることの違いを意識したことがありますか？

▼とても似ているけれど違いますね？ほめ続けた結果、子どもは言葉であれご褒美であれ、ほめられることが目的になり、ほめられるための行動をとるようになります。これに対し認めるというのは子どもの行動を観察し、適切な行動を言葉にして伝えます。

▼実況放送みたいな感じで!伝えられた子どもは自分の行動が結果だけでなく、プロセスも見てもらえたという満足感を感じます。

▼例えば「お母さん、テスト100点だったよ」とお子さんからの報告を聞いて、皆さまはどのような声かけをしますか？「すごい!」「やったね!」「えらい!」とほめますか？それとも「先生のお話をしっかり聞いていたからね」「とても嬉しそうね!」と認めますか？

▼アドラー心理学で子育てについての考え方で参考になることは他にもたくさんあります。機会がありましたらぜひご一読をお勧めします。

(早川和子 はやかわ かずこ 臨床心理士、
墨田区スクールカウンセラー)

